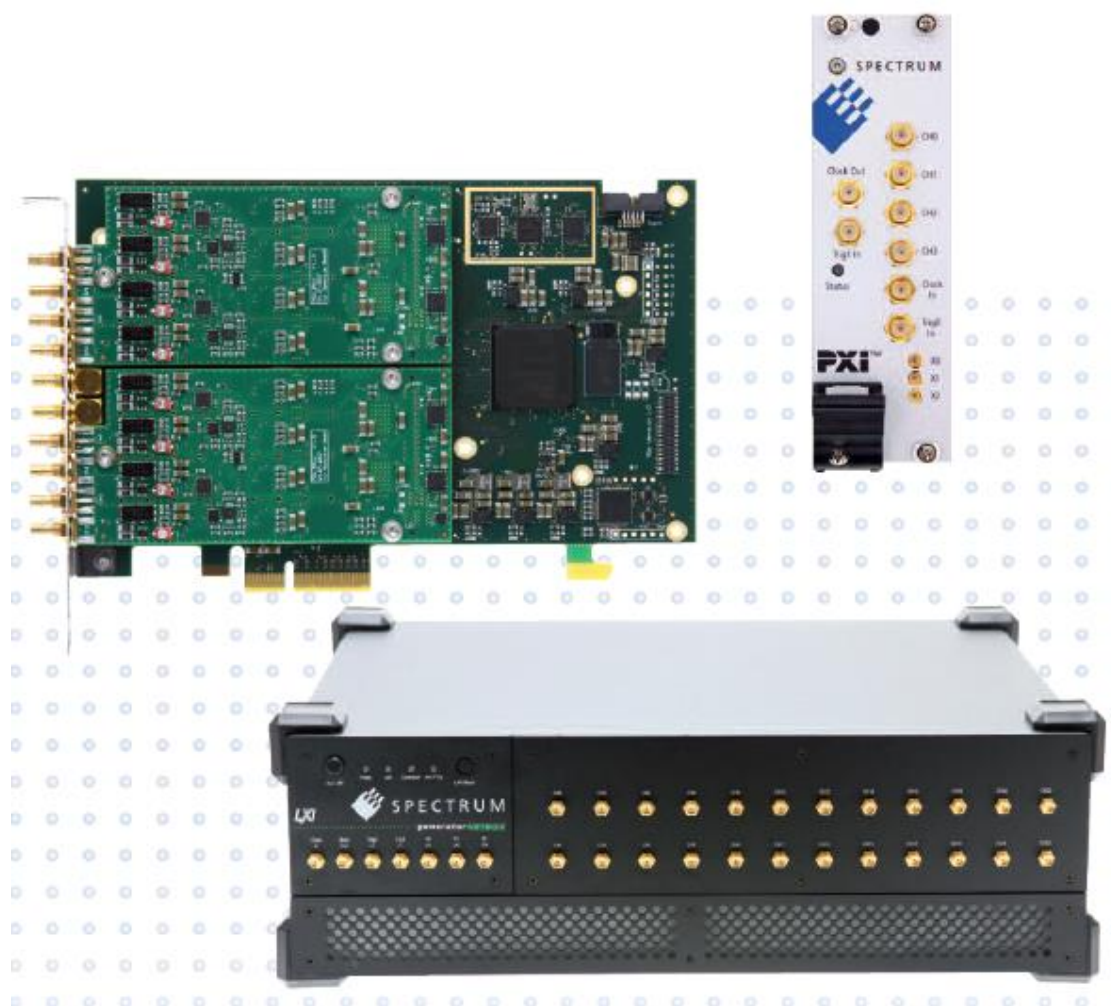


徹底解説！ オシロスコープと デジタイザはどう違う ver13

違いや用途、使い分けについて
初心者にもわかりやすく解説！



デジタイザの概要

特長

省スペース、収集データを高速にPCに転送

PCに挿入（PCIeインタフェース）、PXIeシャーシに挿入（PXIeインタフェース）或いは、PCとLAN接続（NETBOX） 手持ちのPCがオシロスコープに！

主な機能

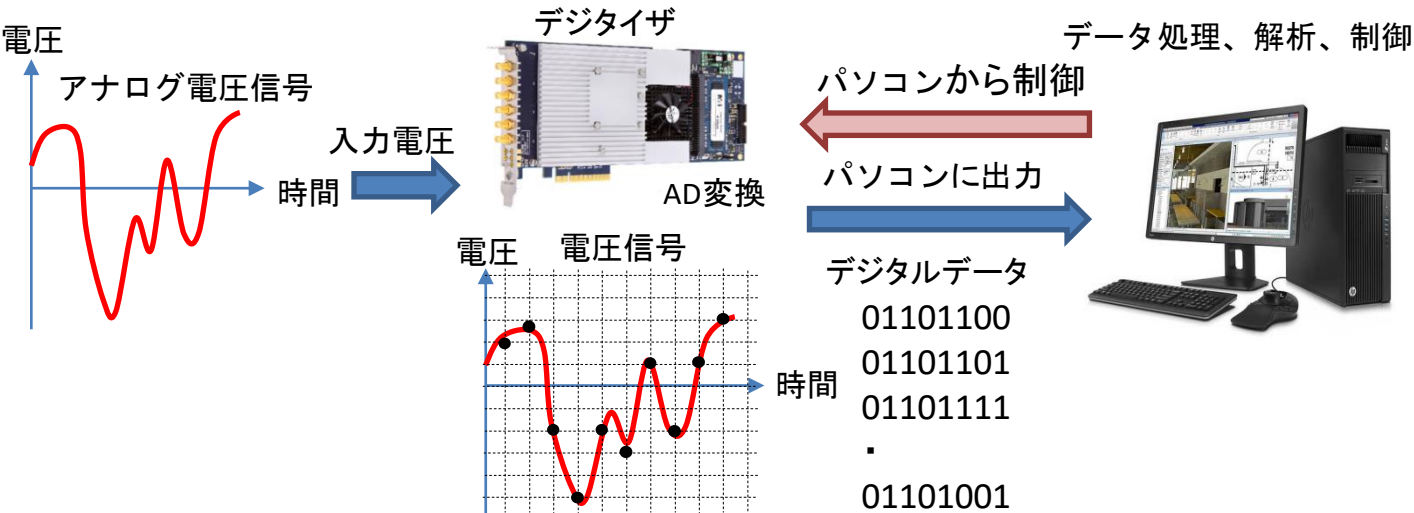
サンプリング速度：1kS/s～6.4GS/s 分解能：8ビット～16ビット

チャンネル数：1,2,4,8,16～48

豊富な解析機能（SBench6-Pro）

デジタイザとは、アナログ量をデジタルデータに変換する装置です。
ここでは、アナログ電圧信号をデジタルデータに変換する装置についての説明をします。

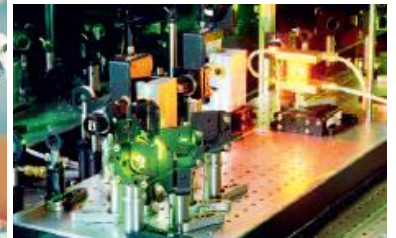
アナログ電圧信号をデジタルデータに変換する装置と言うと、一般的には、AD変換器(Analog-to-digital converter)ですが、デジタイザは、AD変換器に、プリアンプ、メモリ、パソコンからの制御、パソコンへのデータ転送を可能にする機構が組み込まれています。



デジタルデータに変換する事により、
パソコン上で種々の処理が容易に行えます。

用途

分光計、医療機器（OCTなど）、自動車関連、自動試験装置、大規模物理実験装置、レーザ応用（Lidarなど）、航空宇宙、レーダー、超音波、電波望遠鏡



デジタイザの機能と形状

製品の機能と形状

digitizerNETBOXとPCを用いて、信号を補足・表示・格納



NETBOX

イーサネット
(有線・無線)



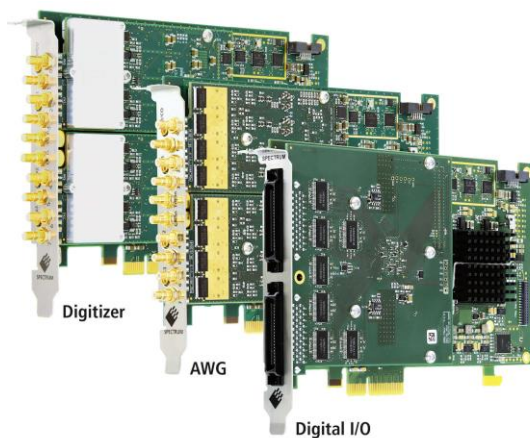
PC+Sbench6*

Sbench6*を用いてLAN経由で、それぞれの計測条件をコントロール、計測結果表示+演算/報告書

デスクトップに挿入しての使用
(装置への組み込み用途)



デジタイザ



ボードをデスクトップPCに挿入 8カードまで同期可能

ソフトウェア対応

Sbench6

<https://www.imt-elk.com/products/sbench6>

主な機能

Standard: 波形表示、データ保存、データ生成他

Sbench6-Pro: 種々の演算 (FFT、SN比計測)、レポート機能をサポート

デジタルデータの表示、収集データの内挿・補間機能

Sbench6-Multi: Sbench6-Proと一緒に使用して、複数台を同期した場合の操作

Scriptツールにより、自動化と外部ソフトウェアからのコントロールが可能

各種ソフトウェア対応

Windows/Linux環境下で、様々なプログラム言語によりコントロールすることができます。

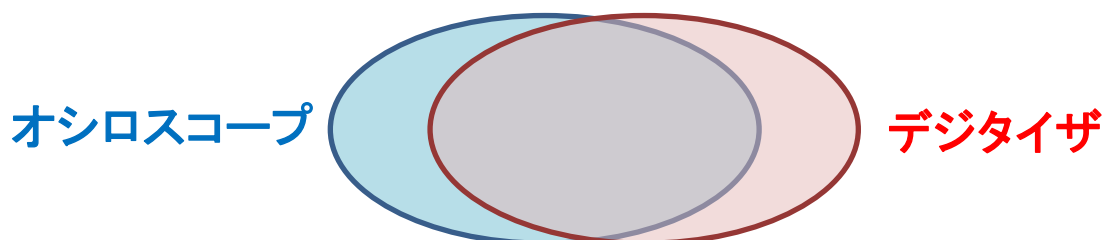
C/C++, Visual basic, VB.NET, C#, Delphi, Python, JAVA, LabVIEW etc.



オシロスコープとどこが違うのか？

オシロスコープとの違いは？

近年、オシロスコープはデジタル化され、DSO（デジタルストレージオシロスコープ）と呼ばれており、オシロスコープの中にはデジタイザの機能が含まれています。オシロスコープとデジタイザは、同じ様な機能を持った測定器なのですが、下記のような特徴があります。

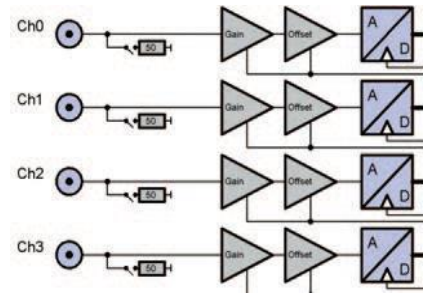


	オシロスコープ	デジタイザ
基本機能	主に波形観測(未知の信号) ・測定条件(レンジ、サンプリングレート)を変更しながらディスプレイ上の波形を観測する。 ・表示更新は速いが、測定データ格納は早くない。	主に波形観測(既知の信号) ・一定の測定条件下で、収集データをPC等へ高速に転送する。 ・高速のトリガ繰り返し信号を、連続して格納する事ができる。 ・連続計測モード(Streaming Mode)がある。
形態	スタンドアロン(持ち運び可能)	組み込み用(PCとの連携)
主な用途	実験、故障解析、デバッグ	検査、観測、大規模装置
データ転送速度	遅い(～5MB/s)	速い(～12.8GB/s)
入力チャンネル数	1～8程度	1～128以上
単体価格	安い	高い
トータルコスト	高い	安い

デジタイザの機能と特徴解説

同時サンプリング

SPECTRUM社のデジタイザは、独立したAD変換器を持ち全て完全な同時サンプリングを実現しています。全てのチャンネルは、独立した入力アンプを持っており、入力チャンネルに関連する種々のセッティングは、全て個々に設定することができます。

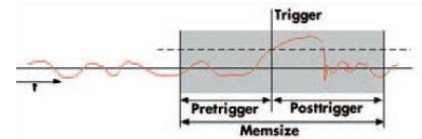


内蔵FPGAによる演算機能

◆PCIe、PXIe、digitizerNETBOXの44xxと22xxシリーズのデジタイザは、全て搭載されたFPGAにより機能拡張されます。Block Average Processingは、多くの繰り返し信号の積算と平均化が行えます。Block Statistics Processingは、収集データの最小、最大のピークを求めます。◆PCIe、PXIe、digitizerNETBOXの44xxシリーズには、移動平均機能が組み込まれており、ノイズを平滑して、SNR、SFDR、ENOB等を向上する事ができます。

トランジェントキャプチャ/リングバッファモード

このモードでは、トリガイベント毎に、pre, postトリガを含むデータがバッファメモリに連続して書き込まれます。さらに、データ収集中でも、トリガ毎にデータが格納されます。

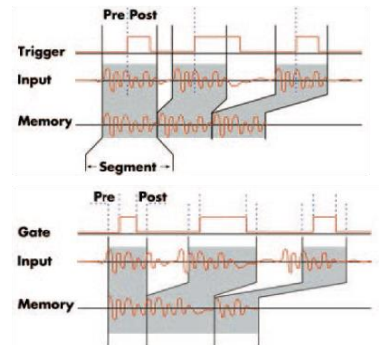


FIFOモード

FIFOモードでは、デジタイザとPCメモリ或いはハードディスク間の連続的なデータ転送を行えます。ボード上のメモリを実際のFIFOバッファとし、非常に信頼性の高い転送を実現しています。最大3.4GB/sで連続的な転送速度を目的としています。

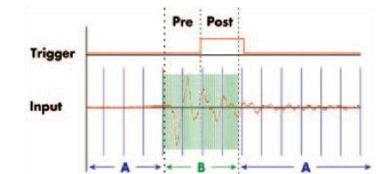
マルチレコードモード

このモードは、ハードウェアをソフトウェアで再スタートせずに、トリガ毎にデータ収集を可能にします。デジタイザの内蔵メモリは、セグメントに分割され、各トリガ毎に、データを記録します。



ゲートドレコードモード

このモードのデータ収集は、外部ゲート信号により制御されます。ゲート信号がプログラムされた値に達した場合に、各ゲートの前後に設定されたデータ数が収集されます。

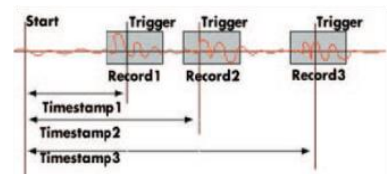


ABAモード/デュアルタイムベース

ABAモードは、マルチレコードモードに似ていますが、セグメントデータ間の指定した範囲で（例えば、データモニタなどの目的のために）より遅いサンプリングレートでのデータ収集を行えます。ABAモードでは、1つの測定器の中で、トランジェントレコーダと一般的なレコーダのコンビネーションが可能です。

タイムスタンプ

タイムスタンプは、計測スタートからの時間、計測トリガ、GPSからの受信信号に同期して出力されます。これにより、異なる位置にあるシステムの収集データを正確な時間関係で測定可能にします。



デジタイザの機能と特徴解説

デジタイザの基本

デジタイザの基本性能を表すものとして、下記があります。

入力レンジ: 入力の電圧レンジの事です。1Vレンジの場合、通常-0.5V~+0.5Vの電圧を扱う事ができます。

入力レンジは、50mV~10V程度で、切り替え可能です。

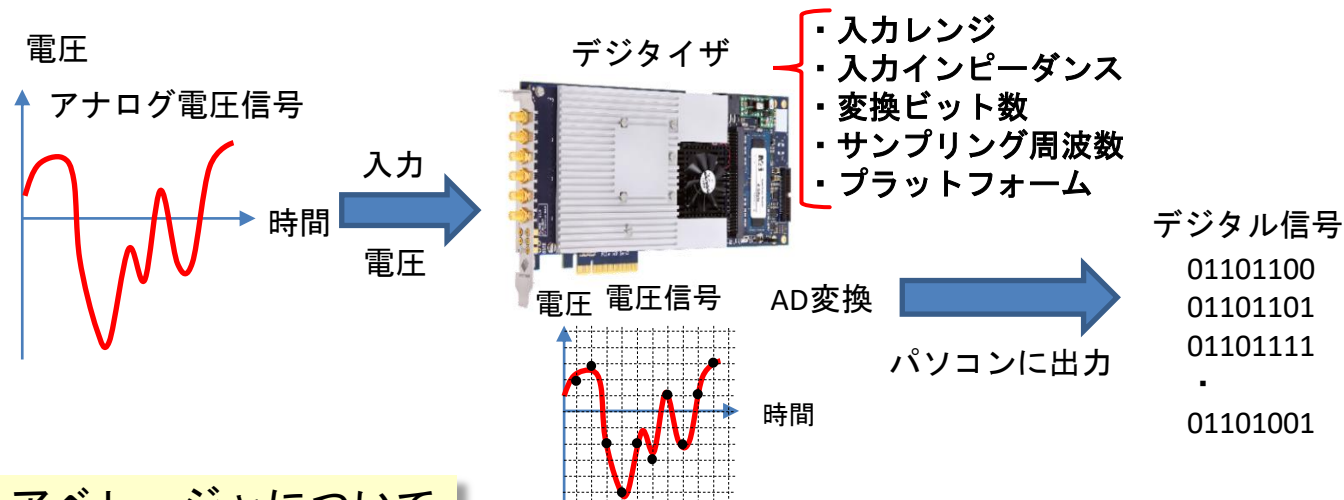
入力インピーダンス: 通常50Ωか1MΩのものがほとんどです。

変換ビット数: 入力の電圧信号を、何ビットのデジタル信号に変換するかビット数の事で、ビット数が多い程、変換に時間がかかるため、変換速度が遅くなります。

サンプリング周波数: 1秒間に何回入力電圧信号を、デジタル信号に変換するかを頻度を周波数(Hz)またはサンプル数(S/s)で表します。

通常デジタイザの最大値を言い、1kHz(1kS/s)~10GHz(10GS/s)程度の値になります。

プラットフォーム(インターフェース): パソコンとの接続方法の事で、PCI、PCIe、PXI、PXIe、LXIなどが使われています。

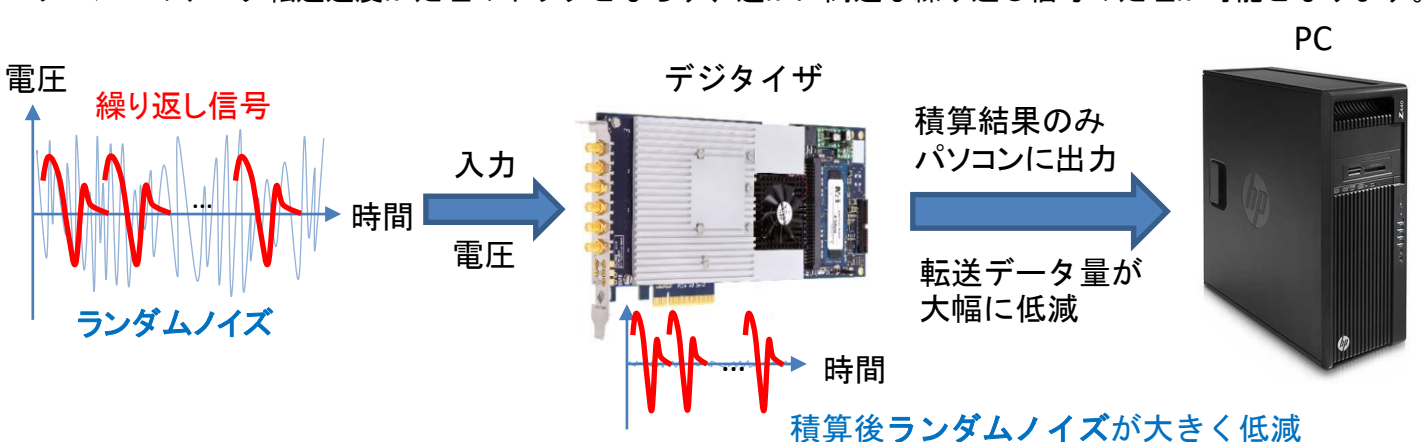


アベレージャについて

デジタイザにはFPGA (Field Programmable Gate Array) を搭載している製品があり、これによりデジタイザ自身で各種信号処理を行うことができます。

代表的な信号処理機能としては、アベレージャ (通常はオプション機能) があり、周期的な信号を何万回も積算しての積算値、或いは積算後の平均値をPCに出力する事が可能です。このアベレージャ機能により、ノイズに埋もれた繰り返し信号を検出することができます。これは、積算処理によりランダムなノイズ成分が相殺されるのに対して、周期的な信号は積算されて行くためです。

パソコン上でも同様の処理が可能ですが、デジタイザに搭載されたFPGAでアベレージャ処理を行い、結果のみをパソコンに転送する事により、収集周期ごとのパソコンへのデータ転送が不要となります。これにより、パソコンへのデータ転送速度が処理のネックとならず、遙かに高速な繰り返し信号の処理が可能となります。

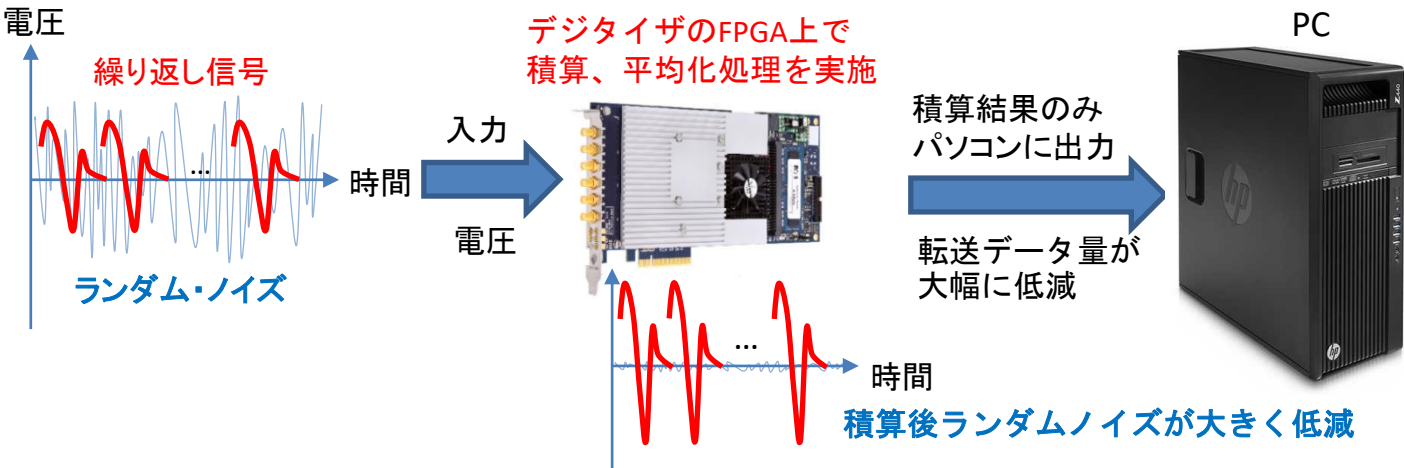


デジタイザの機能と特徴解説

大量データの高速・並列処理

デジタイザには、FPGA（Field Programmable Gate Array）を搭載している製品があり、積算・平均化処理（アベレージャ）など各種信号処理を行う事が可能です。

しかし、FPGAで処理できるデータ長はFPGAの性能などで制限されます（アベレージャでは、通常データ長128kS ~ 640kS程度まで処理可能）ので、非常に長い繰り返しデータの積算・平均化処理を行いたい場合は、パソコンでの処理となります。この場合、デジタイザからパソコンへのデータ転送速度がボトルネックとなったり、またパソコン自体の演算処理速度が不足する場合があります。この様な場合、OSが介入しないPCIe直接転送RDMAと、スーパーコンピュータ並みの高速演算処理が可能なNVIDIAのGPUを使用したCUDAによるSCAPP（以下参照）が、お勧めです。



SCAPP(Spectrum CUDA Access for Parallel Processing)

Spectrum社デジタイザ
(M5i, M4i, M4X, M2p)



ドライバオプション
RDMAによりデータを
直接GPUに転送

M5iの場合
PCIe Gen3 x16
転送速度 (12.8GS/s)



NVIDIA GPU
(Graphic Processing Unit)

PCIe

応用例

リアルタイム処理（高速処理）要求への対応
(FFT、フィルタリング、積算・平均化処理等の演算)

CPU
(通常の処理)



演算結果をCPUへ

特長

デジタイザで測定したデータをCUDAの環境下で直接GPUに送り、GPUでの演算結果をCPUに送る事により、リアルタイム処理に対応可能。
(GPUの処理能力は、CPUの数倍以上)

CUDA : グラフィックカードメーカーNVIDIA社が提供するGPUコンピューティング向けの統合開発環境。プログラム記述、コンパイラ、ライブラリ、デバッガなどから構成されており、C言語によるプログラミングの経験があれば扱いやすくなっています。

OS環境 : LINUX、Windows

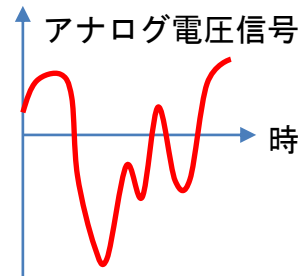
PCIeとLXI

PCIeについて

PCIe (PCI Express) とは、パソコン内にある周辺機器増設用の非常に高速なシリアルインターフェースです。パソコン内のグラフィックカードもPCIeで接続されています。

デジタイザ、AWGもパソコンに組み込むためにPCIeを使用しており、Gen3 x16 (Generation 3, 16レーン) では、約12.8GB/sの高速でパソコンへのデータ転送が可能となっています。

電圧



入力、出力

デジタイザ、AWG



パソコンとのデータ転送



M5iの場合
PCIe Gen 3, x16
12.8GS/s

デジタル信号
0110110010110000
0110111111000001
.
0110100100101011

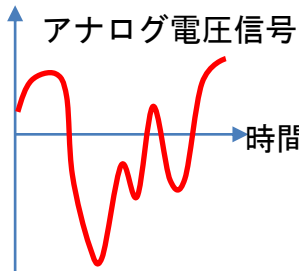
この高速PCIeインターフェースにより、リアルタイムでのデータ収集、データ出力、データ転送、処理、デジタイザとAWGの連携動作が可能となります。

LXIについて

LXI (LAN eXtensions for Instrumentation) とは、Ethernet Interfaceを測定器用に拡張した規格で、ご使用中のLANを介してデジタイザ、AWG等とパソコン、ノートパソコン等を簡単に接続できます。これにより、パソコンとデジタイザ、AWGの設置自由度が高まり、デジタイザ、AWGを分散設置して遠隔制御し、測定することも可能になります。

データ転送速度は、ご使用のLAN環境に依存しますが、Gigabit Ethernet環境では最大100MB/s程度です。

電圧



入力、出力

デジタイザ、AWG
NETBOX



LAN環境

LANケーブル
直結



モバイル、
サービス用途



製品カタログ

33xxシリーズ 12ビット 高速デジタイザ(～6.4GS/s)

- ・分解能 12ビット
- ・M5i.3377-x16: 6.4GS/s(1ch) M5i.3330-x16: 3.2GS/s(2ch), 6.4GS/s(1ch) M5i.3321-x16: 3.2GS/s(2ch)
- ・内蔵のデータメモリ 2 GSamples(4 GByte)、8 GSamples(16 GByte)オプション
- ・PCIe上で最高12.8 GByte/s(6.4 GS/s) の高速データ転送 PCIe x16 Gen3インタフェース
- ・トリガモード:チャンネル、External、Edge、Software、Window、Re-arm、OR/AND、Delay
- ・データ収集モード: Single-Shot、Streaming、Multiple Recording、FIFO、Timestamp

NEW!



- ・PCIe x16 Gen3
- ・転送速度: 12.8GB/s
- ・SMA、MMCXコネクタ
- ・SCAPPオプション

22xxシリーズ 8ビット 高速デジタイザ(～5GS/s)

- ・サンプリングレート: 1.25GS/s～5GS/s
- ・帯域: 500MHz～1.5GHz (入カインピーダンス 50 Ω)
- ・マルチチャンネル対応: 1～32チャンネル(カード)、8～24チャンネル(NETBOX)
- ・機能/モード: リングバッファ、マルチレコードモード、ゲートドレコードモード、ABAモード、タイムスタンプ
- ・カード内蔵データ分析信号処理: ブロック平均およびピーク検知
- ・トリガ機能: レベル、エッジ、ウィンドウ、re-Arm、OR/AND

PCIe **M5i** series



- ・PCIe x8 Gen2
- ・転送速度: 3.4GB/s
- ・同期: Star-Hub 8カード
- ・SMA、MMCXコネクタ
- ・SCAPPオプション

PXIe **M5x** series



- ・PXIe x4 Gen2
- ・転送速度: 1.7GB/s
- ・PXIe reference clock/trigger サポート
- ・SCAPPオプション

- ・Gbitイーサネット
- ・リモートコントロール
- ・転送速度: 100MB/s
- ・SMAコネクタ
- ・DC駆動オプション
- ・2/4/8チャンネル

- ・Gbitイーサネット
- ・リモートコントロール
- ・転送速度: 100MB/s
- ・SMAコネクタ
- ・12/16/20/24チャンネル

digitizer **NETBOX**



製品カタログ

44xxシリーズ 14/16ビット 高速・高分解能デジタイザ(～500MS/s)

- ・サンプリングレート: 130MS/s～500MS/s
- ・帯域: 50MHz～1.5GHz(入カインピーダンス 1MΩ / 50Ω)
- ・マルチチャンネル対応: 1～32チャンネル
- ・機能/モード: リングバッファ、マルチレコードモード、ゲーテッドレコードモード、ABAモード、タイムスタンプ
- ・カード内蔵データ分析信号処理: ブロック平均およびピーク検知、BOXCAR平均(移動平均)
- ・トリガ機能: レベル、エッジ、ウィンドウ、re-Arm、OR/AND

PCIe

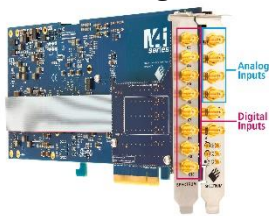
M4i
series



- ・PCIe x8 Gen2
- ・転送速度: 3.4GB/s
- ・同期: Star-Hub 8カード
- ・SMA、MMCXコネクタ
- ・SCAPPオプション

DIオプション

M4i.44xx-DigSMA



- ・形状: SMAタイプ 8チャンネル
- ・M4i.44カードの隣に実装(1スロット専有)
- ・デジタイザに同期してDIデータ収集

PXIe

M4x
series



- ・PXIe x4 Gen2
- ・転送速度: 1.7GB/s
- ・PXIe reference clock/
trigger サポート
- ・SCAPPオプション

44xxシリーズ 14/16ビット 高速・高分解能デジタイザ(～500MS/s) NETBOX

- ・サンプリングレート: 130MS/s～500MS/s
- ・帯域: 50MHz～1.5GHz(入カインピーダンス 1MΩ / 50Ω)
- ・マルチチャンネル対応: 8～24チャンネル
- ・機能/モード: リングバッファ、マルチレコードモード、ゲーテッドレコードモード、ABAモード、タイムスタンプ
- ・カード内蔵データ分析信号処理: ブロック平均およびピーク検知、BOXCAR平均(移動平均)
- ・トリガ機能: レベル、エッジ、ウィンドウ、re-Arm、OR/AND

- ・GBitイーサネット
- ・リモートコントロール
- ・転送速度: 100MB/s
- ・SMA、MMCX
- ・DC駆動オプション
- ・2/4/8チャンネル

- ・GBitイーサネット
- ・リモートコントロール
- ・転送速度: 100MB/s
- ・SMA、MMCX
- ・12/16/20/24チャンネル

digitizer**NETBOX**



製品カタログ

591x~596xシリーズ 16ビット 汎用デジタイザ(5MS/s~125MS/s)

- ・サンプリングレート: 5MS/s~125MS/s
- ・帯域: 2.5MHz~60MHz (入力インピーダンス1M Ω /50 Ω)
- ・マルチチャンネル対応: 1~128チャンネル
- ・機能/モード: リングバッファ、マルチレコードモード、ゲーテッドレコードモード、ABAモード、タイムスタンプ
- ・トリガ機能: レベル、エッジ、ウィンドウ、re-Arm、OR/AND



M2p
series

DIOオプション

M2p.xxxx-DigFX2
M2p.xxxx-DigSMB



- ・PCIe x4 Gen1
- ・転送速度: 700MB/s
- ・同期: Star-Hubによる 16カード連携
- ・SMA、MMCXコネクタ
- ・SCAPPオプション

- ・形状: FX2タイプとSMBタイプの2種類
M2pカードの piggy back (子ガメ)として取り付け
- ・XIOの拡張16チャンネル: M2pデジタイザに同期してDIデータ収集、トリガなど非同期信号の入出力
- ・DN2、DN6にも機能追加可能

59xxシリーズ 16ビット 汎用デジタイザ(NETBOX)

- ・サンプリングレート: 5MS/s~125MS/s
- ・帯域: 2.5MHz~60MHz (入力インピーダンス1M Ω /50 Ω)
- ・マルチチャンネル対応: 16~48チャンネル
- ・機能/モード: リングバッファ、マルチレコードモード、ゲーテッドレコードモード、ABAモード、タイムスタンプ
- ・トリガ機能: レベル、エッジ、ウィンドウ、re-Arm、OR/AND

- ・GBitイーサネット
- ・リモートコントロール
- ・転送速度: 100MB/s
- ・BNCコネクタ
- ・DC駆動オプション
- ・4/8/16チャンネル

- ・GBitイーサネット
- ・リモートコントロール
- ・転送速度: 100MB/s
- ・BNCコネクタ
- ・24/32/40/48チャンネル

digitizer**NETBOX**



DN2.59x-08のデジタル入力オプション
アナログ入力: 8チャンネル
デジタル入力: 11チャンネル

製品カタログ

66xxシリーズ 16ビット 高速任意波形発生器(AWG)

- ・サンプリングレート: 625MS/s~1.25GS/s
- ・帯域: 200MHz~400MHz
- ・分解能: 16ビット
- ・マルチチャンネル対応: 1~32チャンネル(カード)、8~24チャンネル(NETBOX)
- ・機能/モード: シングルショット、マルチリプレイゲートドリプレイ、FIFOリプレイ、シーケンスリプレイ

PCIe **M2i** series



- ・PCIe x8 Gen2
- ・転送速度: 3.4GB/s
- ・同期: Star-Hub 8カードド
- ・SMA、MMCXコネクタ
- ・SCAPPオプション

PXIe **M2x** series



- ・PCIe x4 Gen2
- ・転送速度: 1.7GB/s
- ・PXIe reference clock/
trigger サポート
- ・SCAPPオプション

- ・GBitイーサネット
- ・リモートコントロール
- ・転送速度: 100MB/s
- ・SMAコネクタ
- ・DC駆動オプション
- ・2/4/8チャンネル

- ・GBitイーサネット
- ・リモートコントロール
- ・転送速度: 100MB/s
- ・SMAコネクタ
- ・12/16/20/24チャンネル

generator **NETBOX**



65xxシリーズ 16ビット 汎用任意波形発生器(AWG)

- ・サンプリングレート: 40MS/s~125MS/s
- ・帯域: 20MHz~70MHz
- ・分解能: 16ビット
- ・マルチチャンネル対応: 1~128チャンネル(カード)、4/8/16チャンネル(NETBOX)
- ・機能/モード: シングルショット、マルチリプレイゲートドリプレイ、FIFOリプレイ、シーケンスリプレイ
- ・出力振幅: $\pm 3V$ (50 Ω 負荷の場合) / $\pm 6V$ (1M Ω 負荷の場合、高電圧出力タイプの場合) $\pm 6V/\pm 12V$

M2p series

M2p.65xx-x4



- ・PCIe x4 Gen1
- ・転送速度: 700MB/s
- ・同期: Star-Hubによる16カード連携
- ・SMA、MMCXコネクタ
- ・SCAPPオプション

DIOオプション

M2p.xxxx-DigFX2
M2p.xxxx-DigSMB



- ・形状: FX2タイプとSMBタイプ
M2pカードの piggy backとして取り付け
- ・XIOの拡張16チャンネル
: M2pAWGに同期してDOデータ出力、トリガなど非同期信号の入出力

- ・GBitイーサネット
- ・リモートコントロール
- ・転送速度: 100MB/s
- ・BNCコネクタ
- ・DC駆動オプション
- ・4/8/16チャンネル

- ・GBitイーサネット
- ・リモートコントロール
- ・転送速度: 100MB/s
- ・BNCコネクタ
- ・24/32/40/48チャンネル

generator **NETBOX**



hybridNETBOX 80x/81xシリーズ デジタイザ・任意波形発生器 (AWG)

- ・2+2/4+4/8+8チャンネル
- ・分解能: 16ビット
- ・サンプリングレート: 40MS/s, 125MS/s
- ・帯域: 20MHz, 70MHz
- ・データメモリ: 512Mサンプル
- ・デジタイザ: 6入力レンジ ($\pm 200\text{mV} \sim \pm 10\text{V}$)
- ・AWG出力振幅: 81シリーズ $\pm 6\text{V}$ (50 Ω 負荷の場合)、 $\pm 12\text{V}$ (1M Ω 負荷の場合)
- ・機能/モード: マルチレコード、Gatedレコード、マルチリプレイ、シーケンスリプレイ、タイムスタンプ
- ・DC駆動オプション (12V/24V)



hybridNETBOX 82xシリーズ デジタイザ・任意波形発生器 (AWG)

- ・2+2/4+4チャンネル
- ・分解能: デジタイザ 14/16ビット、AWG 16ビット
- ・サンプリングレート: デジタイザ 250MS/s, 500MS/s AWG 625MS/s, 1.25GS/s
- ・データメモリ: 2Gサンプル
- ・デジタイザ: 6入力レンジ ($\pm 200\text{mV} \sim \pm 10\text{V}$)
- ・AWG出力振幅: 2出力 $\pm 2\text{V}$ (50 Ω 負荷の場合)、 $\pm 4\text{V}$ (1M Ω 負荷の場合)
4出力 $\pm 2.5\text{V}$ (50 Ω 負荷の場合)、 $\pm 5\text{V}$ (1M Ω 負荷の場合)
- ・機能/モード: マルチレコード、Gatedレコード、マルチリプレイ、シーケンスリプレイ、タイムスタンプ



77xxシリーズ 32チャンネル ロジックアナライザ

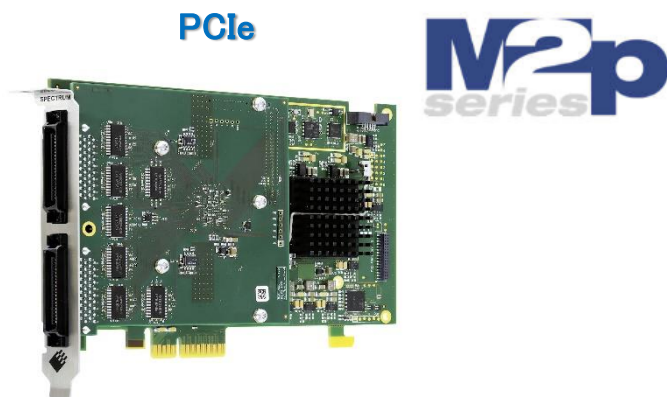
- ・クロックレート: ~720MS/s
- ・マルチチャンネル対応: 16~64チャンネル/カード(1024チャンネル/システム)
- ・機能/モード: シングルショット, マルチレコード, ゲーテッドレコード, ストリーミング(FIFO)データ収集



- ・PCIe x8 Gen2
- ・転送速度: 3.4GB/s
- ・同期: Star-Hub 8カード
- ・2 VHDCIコネクタ

7515 32チャンネル DIO

- ・クロックレート: ~125MHz
- ・マルチチャンネル対応: 32チャンネル/カード X16カード
- ・機能/モード: DI機能
Single-Shot, マルチレコード, ゲーテッドレコード, Streaming(FIFO)データ収集モード
DO機能
シングル, リピート, シングルリピート, マルチ, ゲーテッド, FIFO モード, シーケンス モード
3.3/5V TTL出力



- ・PCIe x4 Gen1
- ・転送速度: 700MB/s
- ・同期: Star-Hub 8カード
- ・2 Hiroseコネクタ

アプリケーション例

<マルチチャネル計測>

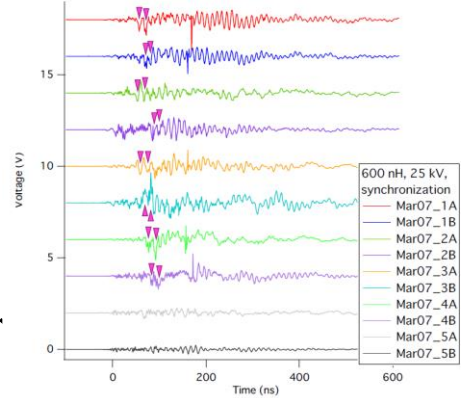
Spectrum製品の機能・特徴

概要

- ・大規模物理実験装置、マトリクス状に配置した種々の素子の特性検査、大型装置などの多点の信号を、効率よく且つ、同期測定できます。
- ・チャンネル数
カード当たり1,2,4,8ですが、複数カード連携(最大で8台まで)可能。
また、NETBOXを使用する事により、サンプリングレートによっては、1台のNETBOX当たり、最大48チャンネルまで可能。

主な仕様・特長

測定データのEXCEL解析例



システム構成

SBench6を用いて、それぞれの計測条件をコントロール、計測結果表示+演算/報告書へ



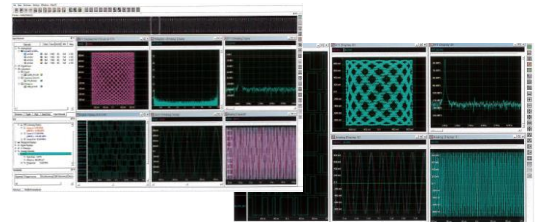
イーサネット



NETBOX

PC+SBench6

SBench6のデータ解析例



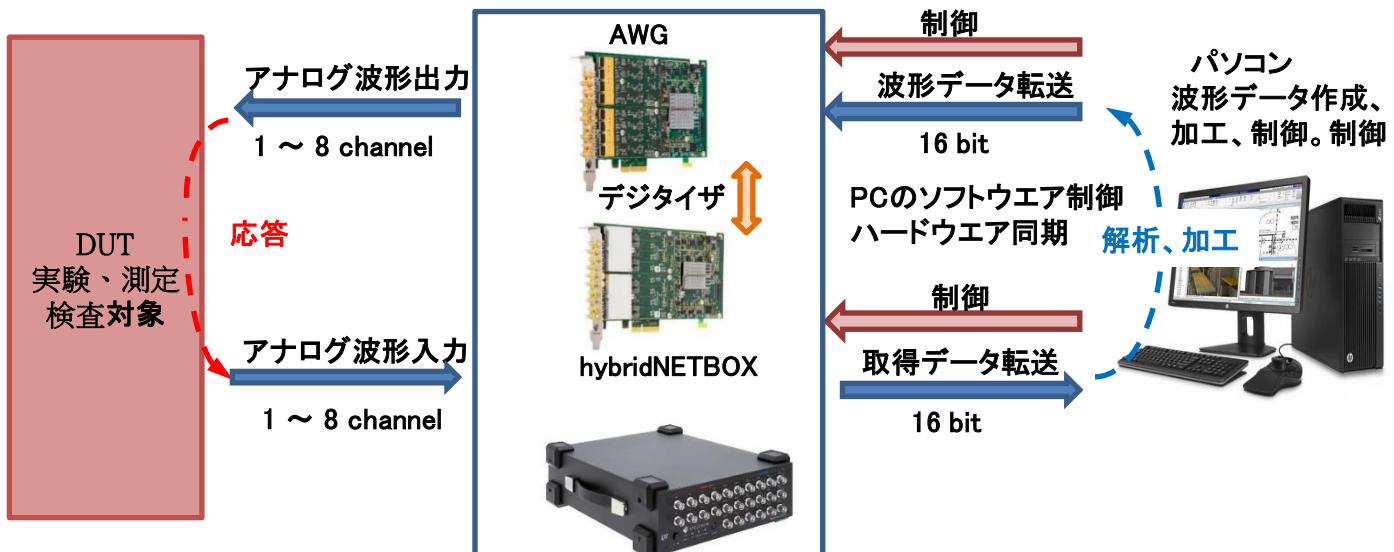
<任意波形発生器とデジタイザの連携_hybridNETBOXの適用イメージ>

Spectrum製品の機能・特徴

概要

PCからのプログラミング、付属のGUI "SBench6"からの設定により、AWGから任意のアナログ波形を生成し、測定対象に印加することができます。また、デジタイザから取得した実際の波形を、AWGから再生したり、さらにパソコンで加工、処理した波形を出力することもできます。

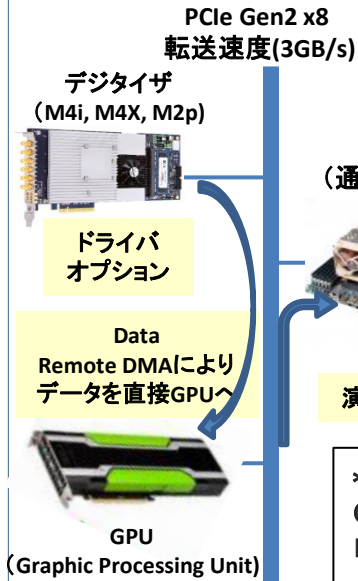
"SBench6":プログラムなしで、測定条件の設定、測定データの表示、格納他を行うことができる。



アプリケーション例

<高速演算例の紹介 SCAPP>

SCAPP (Spectrum's Cuda Access Parallel Processing)



応用例
リアルタイム処理(高速処理)要求への対応
(Lidar、FFT、フィルタリング、平均化処理等の演算)

CPU
(通常の処理)



特長
デジタイザで測定したデータをCUDA
の環境下で直接GPUに送り、GPUでの
演算結果をCPUに送る事により、
リアルタイム処理に対応可能。
(GPUの処理能力は、CPUの数倍以上)

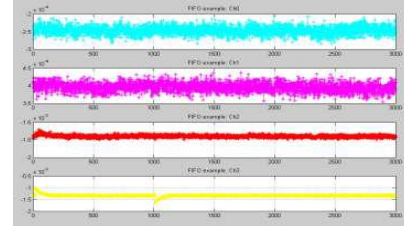
演算結果をCPUへ

*CUDA: 半導体メーカーNVIDIA社が提供する
GPUコンピューティング向けの統合開発環境。プ
ログラム記述、コンパイラ、ライブラリ、デバッグな
どから構成されており、C言語によるプログラミン
グの経験があれば扱いやすくなっています。
OS環境: LINUX、Windows

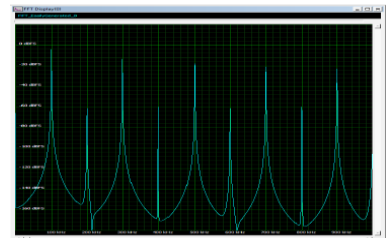
Spectrum製品の機能・特徴

測定波形とFFT演算

測定波形



FFT



<部品特性検査(ダイオードの例)>

電子機器・基板検査

概要

簡易部品計測の例としてツェナーダイオードの例を
示します。

- ・電流の増減に伴う電圧の値を測定するための条件
- 電流値のスweep機能
- 電流出力に同期しての電圧測定
- 測定値のスケーリング機能
- X-Y表示機能

主な仕様・特長

高分解能デジタイジング機能 M4i.44xx、M2p.59xxシリーズ
16ビット、最大 500 MS/s、帯域250 MHz

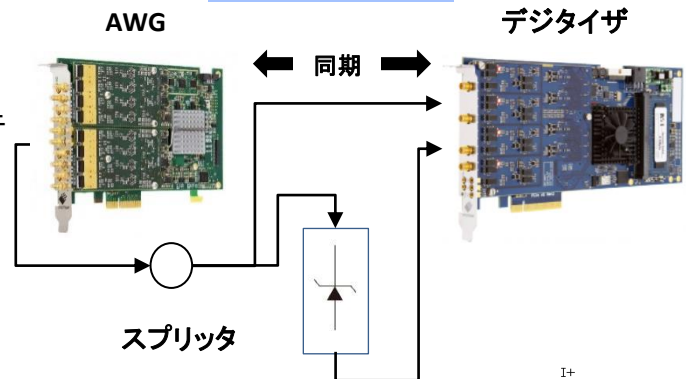
高分解能電圧出力機能 M4i.66xx、M2p.65xxシリーズ
16ビット、最大 1.25 GS/s、帯域400 MHz

高SNR、ローノイズ性能

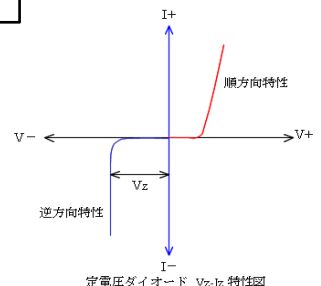
SBench6の機能

- ・Easy Generatorの波形作成機能: (sine, Square, triangle)
- ・出力波形のモニタ
- ・測定データのスケール機能/X-Y表示機能

システム構成



SBench6



測定例

アプリケーション例

<アナログ/デジタル混在信号の同期計測>

概要

プロセッサを使用してコントロールをしている機器の場合、図1に示すように、バス(例えばI2C)の動きと、それに同期したアナログ信号(電源ライン、クロック、AD変換器の入力、DA変換器の出力)を測定する必要があります。また、バスなどのデジタル信号も、その立ち上がり/立ち下がり時間、ハイレベル/ローレベルの電圧値を測定する必要があります。デジタル計測M2p.59xx-x4とそのオプション或いはM4i.44xx-x8のDIオプションにより、上記が可能になります。

主な仕様・特長

デジタル計測M2p.59xx-x4(16ビット)とM4i.44xx-x8(16/14ビット)とそれぞれのDIオプション



- ・物理層の信号計測(アナログ信号計測)とプロトコル層の信号計測(ロジックアナライザのイメージ)を同期データ収集。
- ・アナログ信号の分解能の最高ビットをデジタル信号に割り当てる事により、同期計測を実現。
- ・SBench6-Proを用いる事により、アナログ信号とデジタル信号を同一画面上に、同期しての表示が可能

電子機器・基板検査

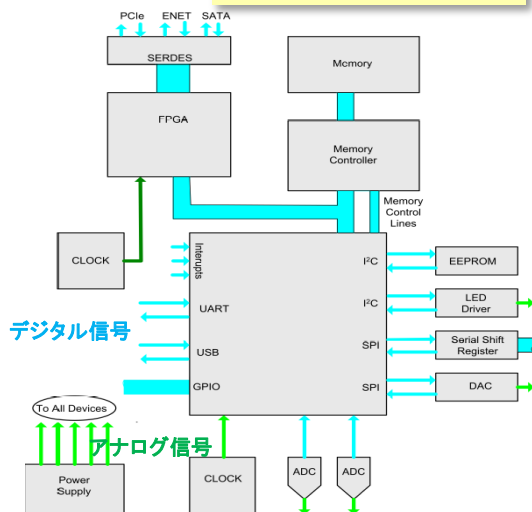


図1 プロセッサ制御機器

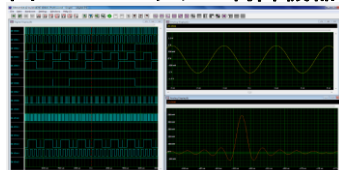


図2 SBench6によるデジタル/アナログの同期信号計測例

<マルチチャネル多機能測定システム(同期計測)>

概要

最新の電子デバイスは、並列トポロジなどの使用により、複雑さを増し続けています。そのため、電子デバイスの測定は、より高速でより多くの測定を行える必要があります。マルチチャネルおよび多機能測定の方に進んでいます。電子制御ベースモータのインバータは、パルス幅変調(PWM)により制御、また、速度と角度位置センサにより速度とトルクもフィードバック制御されています。補助装置間の通信に使用されているシリアルインターフェースの動作確認も必要です。増幅器、フィルタ、受信機、およびデジタルインターフェースのテストには、信号源と測定器を必要とします。

主な仕様・特長

M2Pシリーズは、アナログ信号発生用AWG、アナログ信号測定用デジタル計測、高速デジタル信号収集・発生用のデジタルI/Oカードでの使用しての同期計測が可能。

M2p.5968-x4 16ビット、125MS/s、4CHデジタル計測

M2p.6568-x4 16ビット、125MS/s、8CH AWG

M2P7515-X4 32CH、Digital I/O最大16個の異なるカード(デジタル計測、Star HubによるAWGS、およびデジタルI/Oモジュール)を混合しての同期計測が可能

- ・SBench6-Proを用いる事により、アナログ信号とデジタル信号を同一画面上に、同期しての表示が可能

SBench6: プログラムなしで、測定条件の設定、測定データの表示、格納他を行うことが出来るツール。

電子機器・基板検査

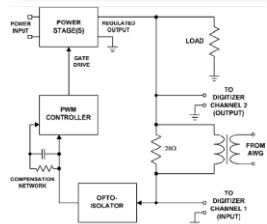


図1 電子制御モータ

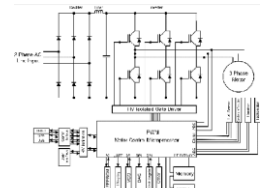


図2 プロセッサ制御機器

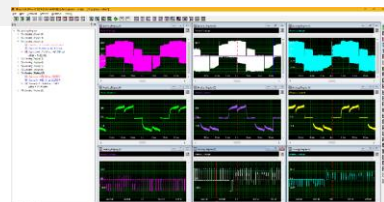


図3 SBench6によるデジタル/アナログの同期信号計測例

アプリケーション例

<設備診断>

概要

半導体製造装置、或いは、ポンプ・モータなどの機器の定常状態の把握とメンテナンス等を適切に行うために、振動、AE（表面弾性波）を測定することが有効です。

AEの測定の応用例としては、リチウムイオン電池の劣化の監視等があります。

上記信号の他に、必要に応じて、制御部からの制御信号等のデジタル信号も同時に測定する必要も出てきます。

digitizerNETBOXは、8~16チャンネルのアナログ入力と、最大11チャンネルのデジタル入力の同時多点測定が可能です。

- ・振動: 歪ゲージを使用して測定
- ・表面弾性波をAEセンサを使用して測定
- ・digitizerNETBOXを使用して、多チャンネル・同時測定
- ・回転パルス: 必要に応じてデジタル信号を計測

主な仕様・特長

digitizerNETBOX DN2.591-16

アナログ入力

: 16チャンネル, 5 MS/s, 16ビット, 2.5 MHz, 512 Msamples

デジタル入力: 11チャンネル

SBench6-Pro

プログラムを作成しなくても、測定条件の設定、測定データの表示、格納他及び種々の演算(FFT解析など)を行うことが出来るツールです。

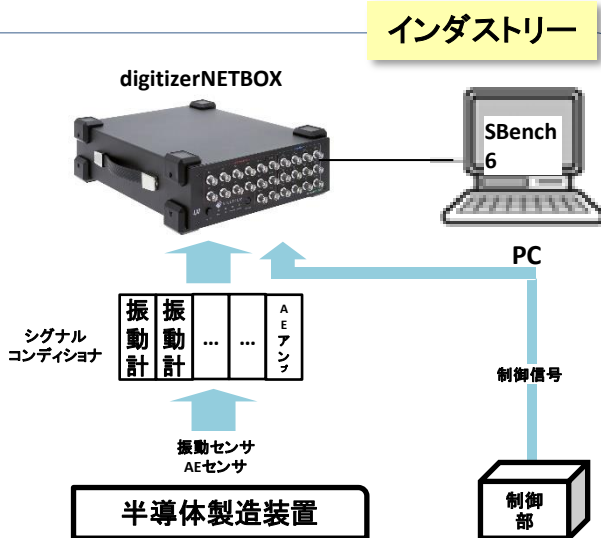


図1. 半導体製造装置の設備診断装置

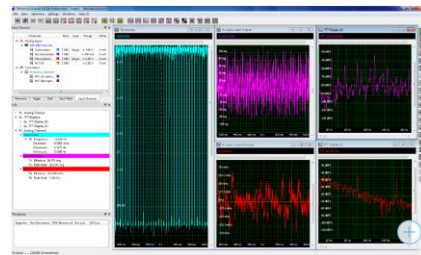


図2. SBench-Proによる測定信号とFFT解析波形の例

アプリケーション例

<超音波計測>

インダストリー

概要

判定分解能向上のためのセンサ信号の広帯域化（周波数帯域の広帯域化が必要（500MHz以上））と、対象の大型化に伴う、スキャン速度の高速化、スキャンエリア拡大により、多量データ解析能力の必然性がアップしてきており、高速・高分解能デジタイザの要求がでてきています。

主な仕様・特長

超音波センサからの信号を確実に捕捉する
高速デジタイジング性能

最大5GS/s 高速デジタイジング、帯域1.5GHz

高データスループット性能

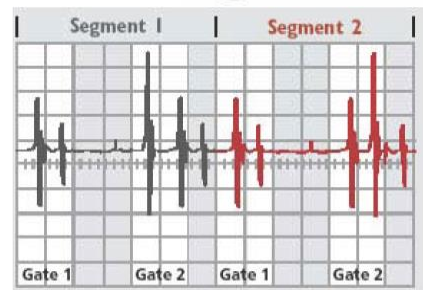
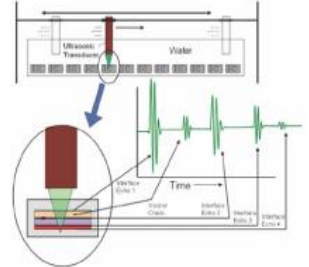
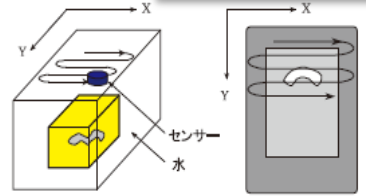
最大3.5GB/s データ転送スピード

オンボードFPGAによるノイズ除去に必要なリアルタイムアベレージング機能

演算転送時間を削減するゲート指定によるデータ収集機能

システム構成

超音波映像装置



ゲート機能によるデータ収集

<LIDAR>

インダストリー

概要

- ・大気中の粒子、ガスなどを検出するために、レーザを照射して、その反射光を検出・分析する事により、その成分を検出する事が可能。
- ・ドップラーLidarでは、大気の流れの変化を読み取り空港などのダウンバーストなどの観測に利用。また、自動車の自動運転用のセンサとしての開発も、急速に進められている。

デジタイザへの要求として、検出対象の大きさ、変化のスピードのバリエーションにより、検出速度の高速化、高分解能、高SNRが求められています。

主な仕様・特長

高速デジタイジング機能

最大 5GS/s 高速デジタイジング、帯域1.5GHz

高分解能（12ビット以上）、高SNR

ローノイズ性能→繰り返し測定回数の減少→トータル測定時間減少

高データスループット

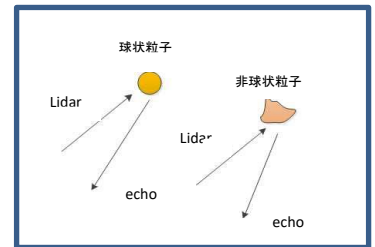
最大3.5GB/s データ転送スピード

ボード上のFPGAによるリアルタイムアベレージ及びピーク検出機能

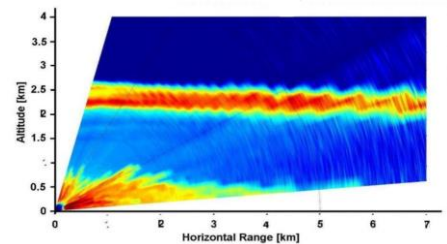
省スペース&省消費電力: 装置全体のコンパクトパッケージ化

応用例

大気中の粒子の検出



ドップラーLidarによる風速解析



アプリケーション例

<電磁鋼板の磁気特性計測>

概要

モータの設計に必要な電磁鋼板の磁気特性は、従来エプスタイン法や単板磁気試験法で測定していましたが、より多くの条件下での磁気特性を測定する事が必要となり、特にモータは回転磁束下で使用されるため、2次元磁気特性測定が重要となります。

モータの励磁周波数は50/60Hzですが、インバータ制御、サイリスタ制御による、高周波、高調波成分の測定も必要となってきました。

主な仕様・特長

デジタイザ M2p.5966-x4

4チャンネル、16ビット、125MS/s(1kS/s~125MS/s)
サンプリングレートの設定分解能: 1Hz

AWG(任意波形発生器) M2p.6561-x4

2チャンネル、16ビット、125MS/s(1kS/s~125MS/s)
外部サンプルクロックによる動作可能

インダストリー

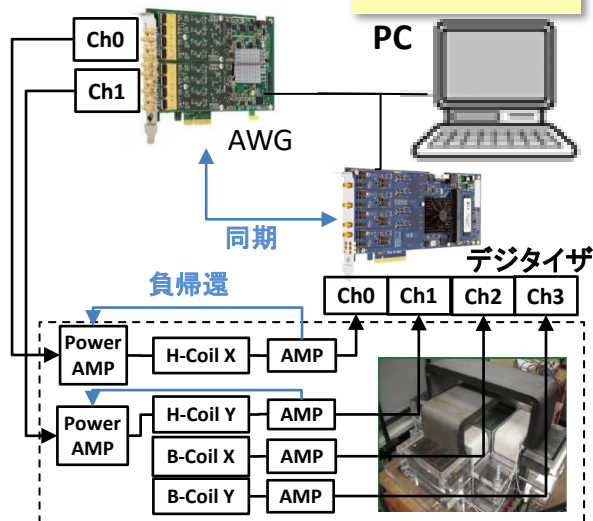


図1. 2次元磁気測定装置

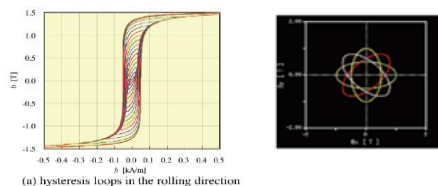


図2. 測定例

<タービンの振動評価試験>

概要

タービンの振動計測では、画像による計測などが行われているが、ここでは、歪ゲージをセンサとして振動計測を行う例を示します。高温対応の歪ゲージをブレードに貼付し、スリップリング等で伝達する方法です。

一方、制御部からの制御信号等のデジタル信号も同時に測定する必要があります。digitizerNETBOXを用いて、8チャンネルのアナログ入力と、最大11チャンネルのデジタル入力の同時多点測定が可能です。

- ・振動: 歪ゲージからスリップリングを介して シグナルコンディショナで電圧値に変換
- ・回転パルス: デジタル信号
- ・制御信号: デジタル信号

主な仕様・特長

digitizerNETBOX DN2.591-08-Dig

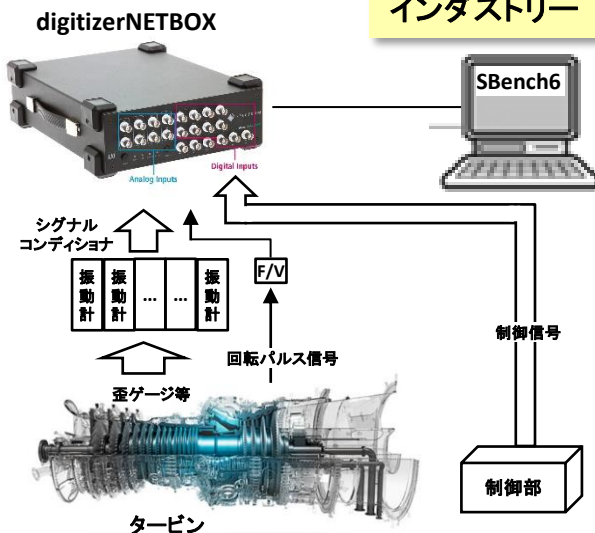
アナログ入力: 8チャンネル、16ビット、2.5 MHz、5 MS/s、
1 x 512 Msamples

デジタル入力: 11チャンネル

S Bench6

プログラムなしで、測定条件の設定、測定データの表示、格納他を行うことが出来るツール

インダストリー



タービン

図1. タービンの振動評価装置

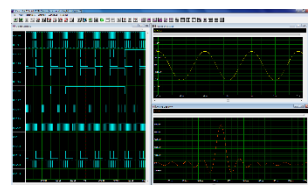


図2. S Bench6によるアナログ・デジタル信号同期測定例

アプリケーション例

<TOF-MS 質量分析計>

インダストリー/物理・化学

概要

従来のTDC(Time Digital Converter)タイプの質量分析装置の欠点(複数分子構成の多重イオンイベント未対応、飛行時間ダイナミックレンジが狭い)に代わるものとして、デジタイザの積分機能を用いた装置が使用されていますが、さらに、高速サンプリング、高分解能が求められています。

システム構成

組込用途として、デジタイザの**高速アレージング機能と画像拡大機能**により、解析が容易

主な仕様・特長

高速デジタイジング機能

最大 5GS/s 高速デジタイジング、帯域1.5GHz

高分解能(12ビット以上)、高SNR

ローノイズ性能 → 繰返し測定回数の減少

→トータル測定時間減少

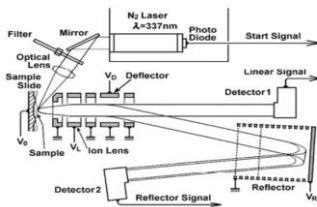
高データスループット

最大3.5GB/s データ転送スピード(PCle Gen2 x8)

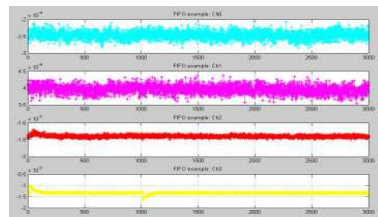
ボード上のFPGAによる**リアルタイムアレージ**

機能

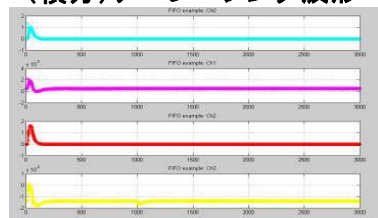
省スペース&低消費電力: 装置全体のコンパクトパッケージ化



測定波形



(積分)アレージング波形



<加速器への応用>

物理・化学

概要 (Cern, DESY)

デジタイザが必要になる測定点と要求される性能

・直線加速器のビームポジションモニタ

広帯域・高速サンプリング

チャンネル間の同時測定性能

・蓄積リングの加速性能モニタ

広帯域・高速サンプリング、分散型測定

・粒子線の測定

高速・高分解能測定、リアルタイム積分機能

主な仕様・特長

高速デジタイジング機能

8ビット、最大 5GS/s 高速デジタイジング、帯域1.5GHz

高分解能(14、16ビット)、高SNR

ローノイズ性能 → 繰返し測定回数の減少

→トータル測定時間減少

マルチチャンネル ~48チャンネル

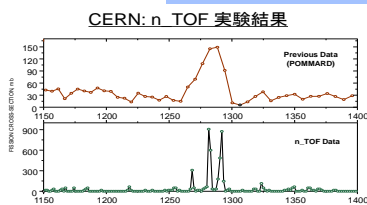
高データスループット

最大3.5GB/s データ転送スピード

ボード上のFPGAによる**リアルタイムアレージ**

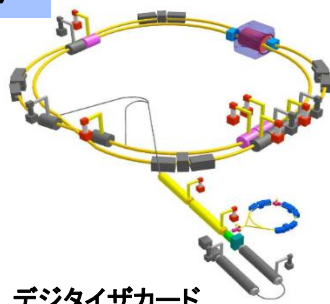
SBench6による演算機能

システム構成



測定例

digitizerNETBOX



デジタイザカード



CERN(欧州原子核研究機構)
スペクトラム社のデジタイザが
140台以上使用

https://spectrum-instrumentation.com/applications/case_studies/Over_140_Digitizers_at_CERN.php



DESY(ドイツ電子シンクロトロン)
・15年以上の稼働実績
・LINIAC(直線加速器)

スペクトラム社の最新モデルに置き換え
<https://spectrum-instrumentation.com/en/15-year-old-spectrum-digitizer-cards-still-playing-vital-role-desy>

アプリケーション例

<高磁界計測への応用>

物理・化学

概要(東京大学)

高磁界(100T)を最適制御するには、サブナノ秒毎に発射するプロセスの精度を向上させる必要があり、大きなコンデンサのバンクを起動するトリガイベントを互いに10ns以内に制御する必要があります。そのために、1GS/sを超えるシングルショットサンプリングレート、完全同期の10チャンネルデジタル化システムが必要です。さらに、高い磁場から機器とオペレーターを保護するためオペレーターがコントロール室で実験を調整および監視し、デジタル化システムを、リモートで操作できる必要があります。

[https://spectrum-](https://spectrum-instrumentation.com/applications/case_studies/digitizerNETBOX_for_high_magnetic_fields.php)

[instrumentation.com/applications/case_studies/digitizerNETBOX_for_high_magnetic_fields.php](https://spectrum-instrumentation.com/applications/case_studies/digitizerNETBOX_for_high_magnetic_fields.php)

主な仕様・特長

digitizerNETBOX DN6.221-12

多チャンネル、高速デジタル化機能

8ビット、12チャンネル、1.25 GS/s、

リモートコントロール機能

構内LAN 接続によるリモート制御

SBench6による、データ収集、表示機能

必要な分解能毎に、下記のdigitizerNETBOXも使用されている。

DN2.592-16 16ビット、20MS/s、16チャンネル

DN6.445-12 14ビット、500MS/s、12チャンネル

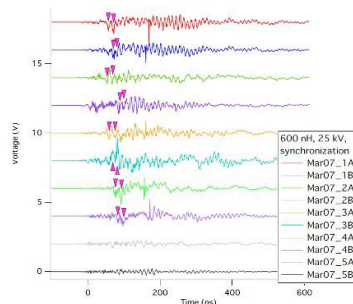
システム構成



東京大学 国際メガガウス科学研究所
パルス磁石は、非的方法で最大87T、
破壊的プロセスで100Tから最大760Tを発生



DN6.221-12



測定例

<核融合炉 (多チャンネル対応)>

物理・化学

概要(イギリスの例)

海水に(水素、トリチウム)が事実上無制限に供給できる事、危険な廃棄物がない事から、核融合はエネルギー生成のための究極の目標と見られている。

写真には、実験が行われる中央の真空容器の周りに放射状に配置された6つのキャパシタバンクがあり、キャパシタは1分間で最大200,000ボルトまで充電され、蓄積された電気エネルギーは2マイクロ秒未満で放電される。

リーズナブルな価格で、多チャンネルの同期測定の要求がある

[https://spectrum-](https://spectrum-instrumentation.com/applications/case_studies/Digitizers_Spectrum_used_to_create_limitless_clean_energy.php)

[instrumentation.com/applications/case_studies/Digitizers_Spectrum_used_to_create_limitless_clean_energy.php](https://spectrum-instrumentation.com/applications/case_studies/Digitizers_Spectrum_used_to_create_limitless_clean_energy.php)

主な仕様・特長

digitizerNETBOX DN2.xxx.xx 或いは DN6.xxxx.xx

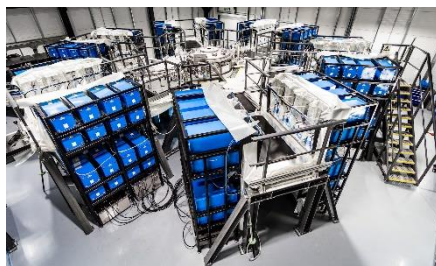
多チャンネル同期計測が可能(～48チャンネル)

M4i.22xx.xx 或いは M4i.44xx.xx +ドッキングステーション

多チャンネル同期計測が可能(～128チャンネル/シャーシ)

装置の外観

真空容器の周りに192台のキャパシタ



256チャンネルシステム

2台の19インチシャーシに32台のデジタル化カード

アプリケーション例

<AFM 針先で原子をスキャン>

物理・化学

概要(ニューキャッスル大学)

原子間力顕微鏡(AFM)は、表面化学に關与する世界中の研究所で使用される重要なツールです。その優れた解像度は、光ベースの顕微鏡よりも1000倍以上に詳細を明らかにでき、また、電子顕微鏡とは異なり、サンプルをその場で画像化できます。メカトロニクス、MEMS、および低ノイズ電子設計の専門知識を結集して、AFMシステムのナノテクノロジーの複雑さとコストを削減できる独自のソリューションの作成例を示します。

<https://www.imt-elk.com/wp-content/uploads/2021/03/Scanning-atoms-with-the-tip-of-a-needle.pdf>

<https://spectrum-instrumentation.com/en/scanning-atoms-tip-needle>

主な仕様・特長

統合されたマイクロカンチレバーからのセンサ信号の取得と分析を可能にするような、高精度で、完全に同期された測定を行う必要がある。

digitizer NETBOX DN2.593-08

DN2.593-08

高分解能、高速デジタル化、多チャンネル

16ビット、40MS/s、8チャンネル同期計測

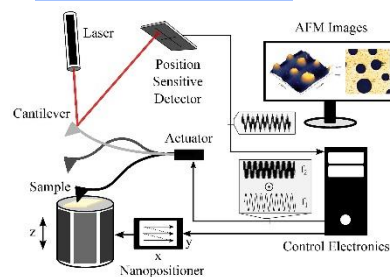
リモートコントロール機能

LAN(ギガビットイーサネット接続可能)による

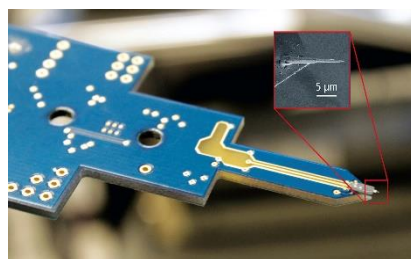
ホストコンピュータとの接続



システム構成



多周波原子間力顕微鏡実験の概略構成
カンチレバーは、ナノポジショナーにより、サンプル上でスキャンされている間、複数の共振周波数で同時に振動



<単一原子に関する実験>

物理・化学

概要(シュツットガルト大学)

シュツットガルト大学は、ダイヤモンドの炭素原子を一度に1つずつ窒素原子に置き換える実験のために、Spectrum社の任意波形発生器を使用。この素子は、原子レベルの磁場検出器や量子コンピュータのQbit《量子力学的な状態を利用することで0と1のほか、それらの重ね合わせの状態もとりうる情報素子》などのアプリケーションに応用できる。

また、NV欠陥中心は、原子サイズの磁場センサーとして使用できるナノスケールの核磁気共鳴(NMR)デバイスであり、例えば、ハードディスクドライブ上の小さな読み取り/書き込みヘッドの磁場強度を測定しての特性評価にも応用可能。ナノスケールのNMRは、通常のサイズのNMRとは異なり、これらの小さなサンプルを測定するために数回のスピンしか必要としないため、単一のタンパク質または薄膜の構造解析にも使用可能。

主な仕様・特長

generatorNETBOX DN2.663-04

DN2.663-04

1.25 GS / s、16ビット、4アナログ出力、6デジタル出力

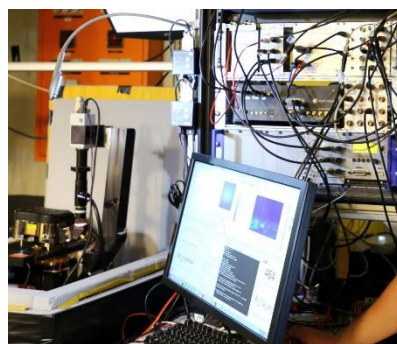
<用途>

レーザ、IQ変調を使用したマイクロ波信号、無線周波数パルスの生成、およびスピン状態を決定するためのデータ収集デバイスのトリガ制御用。

これには、10~20nsecまでの非常に短いパルスが必要

- ・このAWGの使用により、800ピコ秒という非常に高い時間分解能で これらを制御可能
- ・多チャンネル出力、効果的に実験全体を実行可能

実験装置の外観



<https://spectrum-instrumentation.com/en/spectrums-awg-controls-physics-experiments-single-atoms-stuttgart-university>



アプリケーション例

<単一原子を移動させるために使用されている Spectrum の AWG カード>

物理・化学

概要(サンディエゴ大学)

イオン格子内電子の量子的挙動を調査する際、カリフォルニア州のサンディエゴ大学は、光格子内を移動する原子の観測可能な成分を使用して、これを解決している。課題としては、原子を絶対零度近くまで冷却してから、レーザー光のパルスを使用して三角形の格子構造に移動させることである。個々の原子を操作するには、各レーザーパルスから正確に適切な量のエネルギーを供給するための並外れた精度が必要。Spectrum 社AWGの並外れた精度と超低ノイズは、まさに私たちが必要としている機能です。

[AWG-card used to move around single atoms | News | Spectrum \(spectrum-instrumentation.com\)](#)

主な仕様・特長

AWG(任意波形発生器)カード

M4i.6622-x8

高分解能、高安定性、低ノイズ

16ビット、625MS/s、8チャンネル同期出力

SBench6による波形作成機能

実験装置の外観



レーザー光ネットワーク

M4i.6622-x8



<光音響計測(レーザー・アコースティック)>

医療・バイオ

概要

組織或いは構造物にナノ秒パルス幅のレーザーを照射すると、瞬間的に組織が熱膨張を起こし超音波を発生(光音響効果)します。レーザーを用いることで、非常に小さなフォーカスが可能であり、超音波を用いる事で、光の約2倍の深達度、空間分解能が得られます。センサ信号の広帯域化(周波数帯域の広帯域化100MHz以上)と、多チャンネル化により、多量データ解析能力の必然性がアップしてきており、高速・高分解能な高性能デジタイザの要求がでてきています。

主な仕様・特長

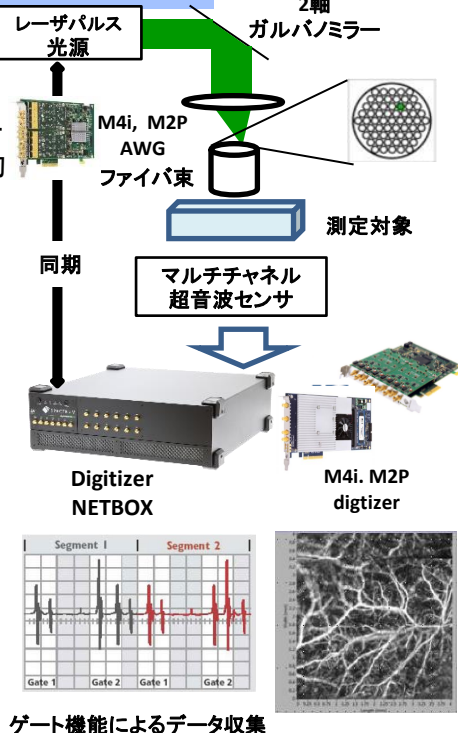
超音波センサからの信号を確実に捕捉するデジタイザ仕様

- ・レーザー照射タイミングに正確に同期した計測(EXTトリガ)
- ・サンプリングレート: 500MS/s~最大5GS/s
- ・帯域: 250MHz~1.5GHz
- ・分解能: 8/12/14/16
- ・チャンネル数: 1ch~16ch
- ・オンボードFPGAによる

リアルタイムアベージング機能、移動平均機能

- ・演算転送時間削減用のゲート指定によるデータ収集機能

システム構成



アプリケーション例

<セルソーティング(細胞分類)>

医療・バイオ

概要(東京大学)

セルソーティングは、分子生物学、病理学、免疫学、ウイルス学の研究において基本的な役割を果たします。東京大学は、Spectrum社のデジタイザを中心とした、超高速(セル当たり32ms)のインテリジェントな画像活性化セルソータ(IACS)を開発しました。この世界初の高スループット、画像ベースの細胞選別技術は非常に用途が広く、生物科学、製薬科学、医学、特に癌細胞と非癌細胞のわずかな違いを分類できる機械ベースの科学的発見を可能にすることが期待されている。

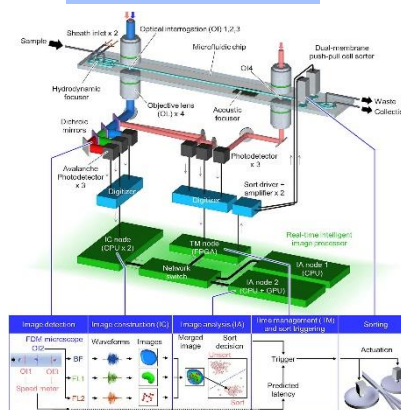
光学、マイクロ流体、電子機器、力学、データ処理など、さまざまなテクノロジーを利用し、柔軟性と拡張性があり、データ収集、データ処理、意思決定、ソート操作のためのリアルタイムの自動化された操作を提供します。

<ビデオ>

<https://www.cell.com/cms/10.1016/j.cell.2018.08.028/attachment/376fe425-fe7a-44f2-87d7-73ab3cd3af3d/mmc1>



システム構成



[https://www.cell.com/cell/fulltext/S0092-8674\(18\)31044-4](https://www.cell.com/cell/fulltext/S0092-8674(18)31044-4)

主な仕様・特長

デジタイザ M4i.2212-x8

1.25 GS / s 8ビット 4チャンネル

アバランシェフォトダイオードからの信号を高速収集。取得したデータは、継続的に、カードの高速PCIeバスを介して、PCIに高速伝送可能



M4i.2212-x8

<MRI (Magnetic Resonance Imaging)>

医療・バイオ

概要

NMR(核磁気共鳴)現象を応用した診断装置

- ・駆動装置(トランスミッタ)
任意波形発生器:300MHz帯域のパルス、sin波
パワーアンプ:数kV、数百A
- ・データ処理部(RFレシーバ)
低ノイズアンプ、ミキサ
デジタイザ:1MHz~300MHz帯域、12~16ビット
リアルタイムFFT処理など

主な仕様・特長

hybridNETBOX DN2.825-xx(PCとLAN接続)

- ・波形出力 16ビット、低ノイズ出力
更新レート:625MS/s 1.25GS/s
出力チャンネル数:2/4
- ・波形収集 14ビット
入力CH数:2/4 サンプルングレート:500MS/s

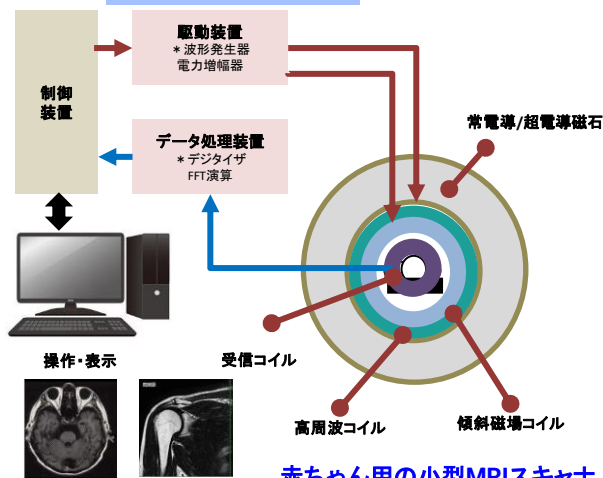
AWGカード M4i.662x-x8 16ビット

更新レート:625MS/s 1.25GS/s
出力チャンネル数:1./2/4

デジタイザカード M4i.445x-x8 14ビット

入力CH数:2/4 サンプルングレート:500MS/s

システム構成



赤ちゃん用の小型MRIスキャナ

* 波形発生器&デジタイザ



アプリケーション例

＜道路上での動物検知(ドイツの例)＞

通信・レーダ

概要(ドイツの例)

道路で野生動物が原因で発生した事故により、6億ユーロ以上の保険費用がかかっている。これに対処するために、レーダ、光学カメラ、赤外線センサに加えてニューラルネットワークを組み合わせ、歩行者、自動車、自転車、バイク、鹿、キツネ、イノシシなどを区別して、これらの行動を予測できるようなシステムが構築されている。

このシステムは、事故を防ぐために車の運転手や他の道路利用者に警告を送る。

https://spectrum-instrumentation.com/news/202005_Intelligent_Road_Radar_Detects_Wild_Animals.php

主な仕様・特長

M2p.5926-x4

16ビット、4差動チャンネル、10MHz帯域

低消費電力、小型、低コスト

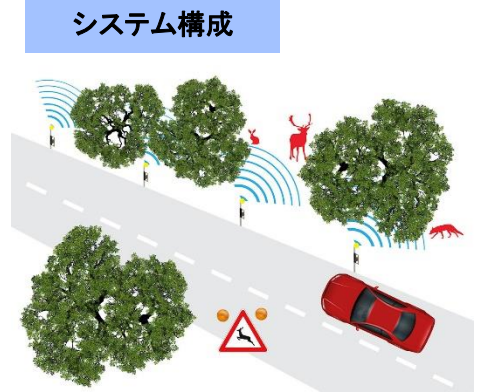
必要なすべてのデータをリアルタイムで同時に収集

非常に簡単で直感的に使用可能

5年保証



M2p.5926-x4



自動車への警告表示の例

アプリケーション例

<連続データ収集の例>

概要

FIFOモードを使用しての連続データ収集の例
最大3.4GB/sで連続的な転送速度を目的
FIFOモードは、デジタイザとPCメモリ或いはハードディスク
間の連続的なデータ転送を行え、ボード上のメモリを実
際のFIFOバッファとし、非常に信頼性の高い転送を実現
最大3.4GB/sで連続的な転送速度を目的

主な仕様・特長

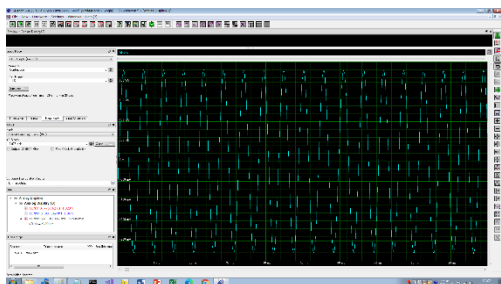
使用機材

- Digitizer : SpectrumM4i.2210-x8
PCI Express x8 Gen 2
1channel 8bit 1.25 GS/s
500MHz Bandwidth at 50 Ohm
SBench6Pro
- SSD (1TB): Western Digital WDS100T3X0C-EC
M.2-2280 SN750, 1TB NVMe
- PC: HP Z4G4 Work station
CPU Intel Xeon W-2123 (3.6GHz,4C, 8.25MB Cache
Cache 32GB (4 x8GB) DDR4 2666MHz
3.5インチ1TB 7200rpm SATA ハードドライブ
Windows 10 Professional
Microsoft Office Home & Business
- HDD (8TB) データ用: Western Digital WD Gold8TB

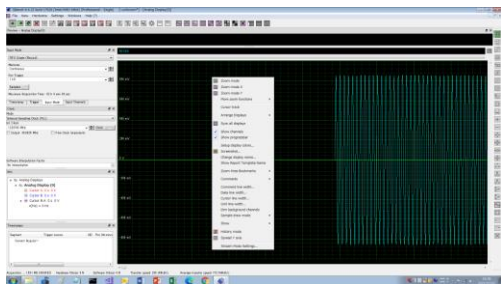
SBench6-Proの収集例

①FIFOモードの設定

収集条件(サンプリングクロック等)の設定



②Streamingモードの設定



システム構成

PC
Work Station



通信・レーダ

デジタイザ
M4i.2210-x8



実測結果(C++の場合)

デジタイザ設置PC環境での転送速度評価結果
(C++プログラムを使用)

デジタイザのメモリ → 1TB SSD

Plain HDD read and write speed

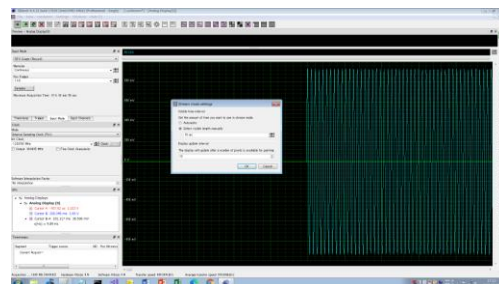
Used file size: 4096 MB

Write -Average 2220.97 MiB/s (2328.85 MB/s)

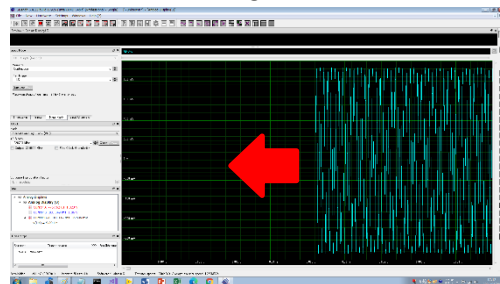
Read -Average 2279.28 MiB/s (2390.00 MB/s)

③Streamingモードの設定

表示Window、表示のリフレッシュ周期等



④連続データ収集(streaming進行中の波形)



30MB/s以上のデータ転送時は波形表示をOFF)



株式会社エレクトロニカIMT事業部
〒252-0233
神奈川県相模原市中央区鹿沼台2-11-1-504
Tel, FAX 050-3498-9423
<https://www.imt-elk.com/>
<https://spectrum-instrumentation.com/en>

ご依頼先